

「四万十川流域治水プロジェクト 2.0」を策定

～気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方向性を公表～

- 四万十川流域では、気候変動の影響により河川流量が増加した場合においても目標とする治水安全度を確保するため、流域治水の追加の対策について、関係者と協働して検討を進めてきました。
- 今般、気候変動を踏まえた河川区域、集水域及び氾濫域での新たな対策や更なる推進を図る対策の方向性をとりまとめた『流域治水プロジェクト 2.0』を策定しました。

流域治水プロジェクトは、近年の気候変動による災害の激甚化、頻発化を踏まえ、上流、下流、本川、支川の流域全体を俯瞰し、河川整備等に加えて、雨水貯留浸透施設、土地利用規制、利水ダムの事前放流など、あらゆる関係者が協働し、実施する治水対策の全体像をとりまとめた取り組みです。

今般、気候変動の影響により、2040年頃には降雨量が約1.1倍となり、河川流量が増加した場合においても、浸水被害の軽減を図ることを目的に、新たな対策や更なる推進を図る対策の方向性を記載した「四万十川流域治水プロジェクト2.0」（別紙参照）をとりまとめました。

※新たな対策および更なる推進を図る対策については、別紙において黄色着色して記載しております。

四万十川流域で策定した「流域治水プロジェクト2.0」や流域治水のこれまでの取組については、以下のWEBページに掲載しております。

【四万十川流域治水協議会（中村河川国道事務所WEBサイト）】

<https://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river14.html>

この取組は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

＜問い合わせ先＞ ◎：主たる問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 TEL:0880-34-7301

副所長 みやざき やすのり 宮崎 泰典（内線：204）
◎計画課長 みやじ けんいち 宮地 憲一（内線：261）